

**Q** 一貫校教育を進めることでの影響は

**A** 心の成長などに懸念される影響は生じない



浅野富男議員

**問** 一貫校教育の方針が導入された理由は。

**教育長** 保育所から中学校まで見通しを持ち地域ぐるみで一貫した教育を推進することで、心豊かでたくましい子どもを育てようという町ならではのの一貫教育をスタートさせた。

一貫校教育の教育ビジョンには、

コミュニケーション制度と保幼小中一貫教育の推進の2つの柱を示している。町では、「めざす子ども像」を共有しながら国見型の連携一貫教育をさらに進めていきたい。

**問** すべての子どもたちに教育の平等な機会が与えられる

ことではないか。

ることが教育基本方針と考えるが、このことは担保されているのか。

**教育長** 町の幼小中一貫教育

の推進にあたっては、全国的な教育水準を維持するとともに、教育の機会均等を担保しながら進めていくものである。

**問** 発達心理学の視点から、やればできるといった自己有能感が育つ時期の成長が一貫校のほうが劣るとい調査結果がある。

一貫校教育を進めることで影響が生じることはないか。

**教育長**

教育は知識だけでなく体の健全な成長や心の成長を図ることが大切。自己有能感は段階に応じて達成感や充実感を味わえるような活動を体験させることで得られるものと考えており、懸念されている影響は生じないと考えている。

とで小学校・中学校は単独校として存続されるか。

**教育長**

このまま単独校として存続する。

**公共施設の除去  
土壌の処理方法は**

**問** 公共施設の除去土壌は敷地内に留め置かれ埋設や野積みの状態で残っている。

今後の処理方法は。

**町長**

国が設置する中間貯蔵施設に直接搬入することとしているが、今年度実施のパイロット輸送の中でも中間貯蔵施設への搬出を検討していく。

また、町設置の10か所の仮置き場への搬入状況も十分に見極めながら、仮置き場への搬入が可能かどうかも併せて検討していきたい。

**問**

時間の経過とともにフレコンバッグは劣化が進むと思うがどのように処理するのか。

**原発災害  
対策課長**

フレコンバッグは5年程度の保管を考慮して輸送などにも耐え得る強度・防水性のあるものである。輸送の際に状態については十分に確認していく。



野積みそのままになっている除去土壌



町の振興発展に向け、議員も一致団結

## 積極的な議員活動で 自治体の振興発展を

### 伊達郡町議会議員大会

7月17日、桑折町、川俣町、国見町の伊達郡内3町の議会議員による第10回伊達郡町議会議員大会が「おじまふるさと交流館」(旧川俣町立小島小学校)で開催されました。

大会では、国、県等関係機関へ提出する要望事項7件について審議しました。3町共同提出要望事項として、「有害鳥獣対策の強化」、本町議会からは桑折町議会との共同提案も含め、「藤田

病院の医師確保」「国道4号の整備促進と立体横断施設の設置並びに県道の歩道設置」「普蔵川、滝川、牛沢川の改修促進」を提出し、すべて原案どおり可決されました。

また、「東日本大震災及び原子力発電所事故被害から一日も早い復旧・復興の推進」他8事項の早期実現を期する決議、「集中復興期間後の復興財源を確実に確保するとともに、現行制度及び特例的財政支援措置を継続すること」など9事項に

関し特段の措置を講じるよう強く要請する「東京電力福島第一原子力発電所事故に関する特別決議」が可決されました。今後関係機関に強く要望していきます。

続いて、「人口減少問題」と「地方創生」を考えるための視点」と題して、NPO法人ローカル・グラントデ

ザイン理事、坂本誠氏の講演をいただきました。

講演の内容は、これからのまちづくりには、人口を増やすことよりも地域の多様な人材を生かし、地域に「誇り」と「愛着」を持てる地域づくりが大切であるということでした。

(報告者 松浦常雄)

### 一部事務組合報告

※一部事務組合とは

複数の市町村などで行政サービスの一部を共同で行うために設置する組織

### アスベスト除去

### 工事費を増額

#### 伊達地方消防組合議会

7月6日、伊達地方消防組合議会第1回臨時会が開催されました。庁舎解体によるアスベスト調査で判明したアスベスト除去にとも

## 住民全体の代表として の意識を持つ

### 新人議員研修会

7月2日、県町村議会議長会主催の新人議員研修会が福島市の杉妻会館で開催され、町議会からは松浦和

なう工事費を1600万円増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ24億6900万円とす平成27年度一般会計補正予算が審議され、原

案のとおり可決しました。

(報告者 渡辺勝弘)

### 議長に東海林一樹 議員を選出

#### 藤田病院組合議会

7月15日、公立藤田病院組合議会臨時会が開催され、議長に東海林一樹議員が選出されました。

(報告者 佐藤定男)



新人議員と村上一議員が参加しました。研修では、地方自治法の解説、議員の心構えと議会運営についてを学びました。我々新人議員にとっては有意義な研修会であり、「議員は住民全体の代表である」が基本であると思います。

(報告者 村上 一)